

3年生による進路体験講話

～ 3年生、後輩たちに進路実現のヒントを伝授 ～



2月14日(火)、3年生による進路体験講話を行いました。1・2年生のキャリア形成に対する意識を高めることを目的として、進路が内定している3年生に自らの進路実現に向けて取り組んできたことや合格を勝ち取るためのヒントなどを語っていただきました。

当日は6名の3年生たちが講師として参加し、自らの体験を踏まえた進路実現のためのアドバイスを後輩たちに伝えてくれました(詳細は下記の通りです)。

【3年生から1・2年生へのアドバイス(一部)】

前田美月さん(御厨中学校出身 私立4年制大学に合格)

面接が上達するには「数をこなす」ことが一番です。本番の面接で緊張しないようにするため、できるだけ多くの先生に面接練習をお願いすると、自分に自信が持つことができ良いと思います。

岡本愛菜さん(御厨中学校出身 公立短期大学に合格)

進学先を決めるのに苦労している人は、自分がやりたいことを明確にすること、自分が少しでも興味を持った学校のオープンキャンパスに積極的に参加することを心がけて、頑張りたいと思います。

副島千陽さん(今福中学校出身 専門学校に合格)

何か特別なことをするよりも、日頃の生活をきちんとすること、「報告」「連絡」「相談」の「ホウ・レン・ソウ」をきちんと行うことが進路実現の第一歩だと思います。一日一日を大切にしてください。

田中 茜さん(志佐中学校出身 専門学校に合格)

簿記をはじめ、商業科の検定(資格取得)を頑張りました。面接の時に面接官の方から資格をたくさん持っていることを褒められたので、それが自分の進路実現につながったように思います。

西田 翔さん(調川中学校出身 企業に採用内定)

3年生になってから慌てて勉強を頑張っても遅いです。1・2年生のうちから日々の学習に頑張ってください。また、面接対策として部活動や学校行事にも積極的に取り組んでください

今里あかりさん(志佐中学校出身 企業に採用内定)

1・2年生の頃から進路についてしっかりと考えて、日々の学習・部活動・ボランティア活動に積極的に取り組み、面接試験・筆記試験対策については、自分が納得いくまで繰り返し練習するように心がけてください。



1・2年生はメモを取りながら、3年生の講話を真剣に聞いていました。講話終了後、**峯乃都佳**さん(1年 志佐中学校出身)は「1・2年生のうちから勉強や部活動に一生懸命に取り組むことの大切さが分かりました。今後の自分の生活を見直したいと思います」と、**坂紀香**さん(1年 鷹島中学校出身)は「オープンキャンパスに積極的に参加すること、検定試験を沢山受けてできるだけ多くの資格を取ること、この2つを今後実践していきたいです」と語りました。なお、後日国公立大学合格者による講話も実施する予定です。

3年登校日（各種講座）

～ 3年生、社会生活への適応力をつけるために、只今学習中 ～

2月に入り、卒業を間近に控えた3年生は自宅学習期間に入りました。しかし、社会生活に適応する力を身につけるために、週に1日登校し、租税教室（2/7）・年金セミナー（2/14）・着こなし講座（2/21）など、外部講師による各種講座を受講しています。

大町空美さん（田平中学校出身）は、租税教室を受講後、「自分の生活は租税を負担している沢山のの人に支えられていることが分かりました。学生である今だからこそ、その事実を甘んじて受け取らず、将来自分が受けた分を返していける社会人になれるよう、成長したいと思います」と感想を述べました。



MATSUURA 仕事図鑑

～ 2年生が市内の企業等を訪問し、仕事について研究しました ～



現在、2年生は「まつナビ」の一環として「MATSUURA 仕事図鑑」の作成に取り組んでいます。生徒たちはグループごとに業種を決めた後、松浦市内の企業や公的機関などを訪問し、仕事の内容ややりがいを感じるなどについてインタビューをしました。

松浦市福祉事務所を訪問した崎村愛彩さん（志佐中学校出身）は、「福祉の仕事が多様であることが分かりました。自分の希望する進路に関わる貴重な話も聞けて良かったです」と語りました。

3月のおもな行事

注) ①は1年、②は2年

1日（水）卒業証書授与式	15日（水）後期選抜合格発表、高校入試追検査
6日（月）後期選抜検査会場設営 （生徒午後自宅学習）	①課題研究構想発表会
7日（火）後期選抜学力検査 （生徒自宅学習 ～ 9日）	19日（日）ノー部活動デー
10日（金）①シグマ検査	20日（月）教科書販売、合格者登校日 高校入試追検査合格発表
11日（土）①②土曜補習	22日（水）②総探・まつナビ（1～7校時）
13日（月）40分授業（高校入試追検査実施の場合）	23日（木）クラスマッチ
	24日（金）終業式、離任任式

「卒業ソング」

校長 舟越 裕

毎年この時期には、「心に残る卒業ソング」といった特集を組むテレビ番組が放送されます。個人的な話で申し訳ありませんが、私の中・高生時代（1980年代）はアイドルの全盛期で、松田聖子、柏原芳恵、斉藤由貴といった人気アイドルが毎年のように卒業ソングをリリースしており、そうした曲は今でも口ずさむことができます。ただし、一番印象に残っているのは、私が3年間担任として持ち上がった学年の生徒が卒業式の時に歌ってくれたレミオロメンの「3月9日」（2005年リリース）です。本来は卒業ソングではありませんが。

「新たな世界の入口に立ち 気づいたことは1人じゃないってこと」
「瞳を閉じればあなたが まぶたの裏にいて どれほど強くなれたでしょう
あなたにとって私もそうでありたい」

高校を卒業すると、就職・進学にかかわらず、今までとは全く異なる環境での人生が始まります。今は、新たな生活へのワクワク感と不安感が入り交じっていることだと思いますが、ぜひ人生を前向きに歩んでください。そして帰省した際、何か相談事がある時には、そよ風薫る 丘の上 にある母校を訪ねてください。祝 卒業！



松高
YouTube



松高
ホームページ



松高
Instagram